

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740

端午の節句

5月11日(土) 白板地区公民館大会議室で「端午の節句」が開催されました。

「琉球國祭り太鼓」は沖縄の伝統芸能エイサーを基に、空手の型を取り入れた独自の振り付けがなされ、ダイナミックなバチさばきと大迫力の演奏を楽しみました。



大迫力の琉球國祭り太鼓

島内公民館の赤廣三郎館長より借用した兜を展示し、来館者が兜を被って、うれしそうに記念撮影をしていました。

食生活改善推進協議会員の皆さんによる「揚げない酢烏」等5品目の料理が提供され、「美味しい」「揚げなくても作れるんだ」等と感心しながら頬張っていました。



兜をかぶって記念撮影



白板地区大運動会



玉入れ



野菜争奪じゃんけん大会

五月晴れの青空に恵まれた5月19日(日) 第19回白板地区大運動会が、いつもの新橋グラウンドに300人を超える参加者で開催されました。松本市では、地区開催の運動会が少なくなる中、春期に連続開催が出来る白板地区では企画・運営を担う地区体育協会の皆さんの努力に負うところが大きですが、連合町会の呼びかけに幼児から若い世代の多くの皆さんが参加してく



大玉送り



綱引き

れる、白板地区の団結力はすばらしいことです。趣向をこらした十種のプログラムに、子供達も大喜びです。運動会定番のリレーでは、子供たちも大人までもが力が入り大いに盛り上がりました。来年のことを言うとうと鬼が笑うと言いますが来年は節目の20回目を迎えます。みんなぞ知恵と力を合わせて、鬼を大笑いさせましょう。

講座岳都・上高地学習会

5月19日(日) 4月に事前学習した「テンナンショウ」の現地学習会が行われました。参加者19名で、「キタマムシグサ」「ヒロハテンナンショウ」のタケノコの先の様な芽吹きを見ることが出来ました。期待していた姿には、まだ少し早かったようです。又、「オオバキスミレ」の群生地や咲き始めた「ニリンソウ」等も観ることが出来て、良い学習会になりました。6月17日(月)に、天南星てんなんせいの上映会を行いました。



キタマムシグサ



ヒロハテンナンショウ

自治の鐘 丸ノ内中学校

10

三年生、集大成となる大会！

六月に入り、丸ノ内中学校の運動部では夏の大会が始まりました。この大会は市中、中信、県、北信越、全国と続いていくとても大きな大会です。そして三年生にとっては、負けると引退となってしまう大切な大会です。これまで各所で練習を重ねて努力をしてきました。

僕も卓球部に所属してこれまで練習を重ねてきました。しかし、夏の大会が近づいてくるにつれて、「負けてしまったらどうしよう。」「自分の力が出せずに悔しい思いをしたらいやだ。」というマイナスの思考が頭をよぎるようになってきました。そんな不安を感じていた時に、顧問の先生が「大切なのは勝負の結果ではなく、これまで積み重ねてきた日々だからどんな結果になっても後悔をすることがないように、全力でプレーをしなければいけない。」と話して下さいました。この言葉を思い出すと今でも胸がいっぱいになります。僕はこの言葉を聞いた日から、以前よりも集中して練習に取り組みました。また、最後まで後悔がないようにがんばろうと思うようになりました。全力でやれば後悔が残ることは無いと考えるうちに自分の中にあっ

た不安が期待へと少しずつ変わっていくのを感じました。結果は、中信大会で敗れてしまいました。しかし、僕の中にも後悔はありません。それは、あの時の顧問の先生の言葉を信じて全力でやってきたからだと思っています。そしてそれは、何よりも先生方、保護者の方々などの支えがあったからです。支えて下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

僕たち三年生はこれで引退し、一年生、二年生が部を引き継いでいきます。大変なこともあると思うけれど、来年は挨拶、マナーなど当たり前のことをきちんとやるスポーツ選手らしさを忘れずに、僕たちが果たすことができなかつた「県大会出場」という目標を達成してほしいです。



大会へ向けての壮行会の様子

講座 上高地自然観察会

6月22日(土)、参加者24名で、宮淵在住の吉澤国雄さんを講師に上高地自然観察会が行われました。

予報よりも早く降り出した雨の中、吉澤講師の丁寧な説明にメモを取りながら、聞き入っていました。

ベニバナイチヤクソウの群生地やレンゲツツジの群生地なども観ました。午後2時ぐらいに太陽が顔を出し、雨上がりの新緑が眩しく、感動を覚えました。



立て看板でヤナギ類について解説する吉澤講師

育成会 さつまいも 植え付け

11月のやきいも大会に向けて、サツマイモを育てています。5月12日(日)には畝づくり、6月8日(土)にサツマイモの苗200本を植え付けました。



植え付け

総勢200人を超える皆さんが、10月の収穫を楽しみに、苗を植え付けました。

美味しいサツマイモが育つといいなと願いつつ、植え付け後、たっぷり水を与えていました。



水やり

丸中エコたわし作りに地域ボランティアが講師

6月14日(金)・18日(火)、丸ノ内中学校3学年18名の総合的な学習「毛糸のエコたわし」作りに、地域のボランティア4名が講師を務めました。初めての生徒も、徐々に編めるようになり、18日には、途中から色を変えたりして、カラフルなエコたわしを作っていました。



鍾馗様のかぶる帽子に似ていることから命名 ショウキラン